



しれいちょうかん モロナイは、
わるい ^{おう}王さまの ^{ぐん}ぐんから、
^{ひと}人人を ^{おも}まもりたいと 思いました。



モロナイは、^{ひと}人人のために はたを ^{つく}作ることにしました。